

電気学会 電力・エネルギー部門大会 参加報告

技術第二班 一条 洋和

1. はじめに

平成 23 年 8 月 30 日(火)～9 月 1 日(木)の 3 日間、福井大学文京キャンパスで行われた、電気学会 電力・エネルギー部門大会に参加した。

2. 日程

今回の学会では、論文発表が 11 の会場で行われた他、ポスターセッション、企業展示、テクニカルツアーが行われた。筆者の参加日程を示す。

● 1 日目

- 9:00-10:45 セッション 10
「省エネルギー」
- 11:00-11:30 企業展示
- 12:30-13:00 ポスターセッション
- 14:00-17:00 震災特別セッション
「大震災と電気エネルギー」

● 2 日目

- 9:00-11:30 セッション 21
「新電力供給システムⅡ」
- 11:50-12:10 電気バス試乗 (下写真)



13:30-17:20 特別企画

(1) 招待講演

「The Trend and Situation of
Smart Grid of Jeju Island, Korea」

(2) パネルディスカッション

「仮想現実という魔物
～想定外の落とし穴～」

(3) 特別講演

「『自己とは何ぞや』という問いと
『自分を信じるということ』」

● 3 日目

- 9:00-11:00 セッション 18
「解析・シミュレーション」

3. 研修内容等

● 論文発表の聴講

筆者が行っている電圧変動計測に関連した発表や、エネルギーの有効利用、スマートグリッドに関する発表を聴講できた。省エネルギーへの取り組みと言っても様々な視点があることを学ぶことができた。単純に使用電力を減らす、ということだけでなく、一次エネルギーを積極的に利用して CO2 の総排出量を減らしたり、電気自動車を自然エネルギー発電のバッテリーとして用いたり、全体的なバランスを考えた方策が多かったのが印象的だった。

● 震災特別セッション

震災に関すること、特に原発事故に関する情報は、ほとんどマスコミを通したものしか聞いていなかった。今回、原発事故に関して一步引いた視点から話を聞くことができた。メディアでは、事故に至った福島原発のみが大きく取り上げられているが、今回の話で、危機回避機能がきちんと作動して大事故を免れた原発が幾つもあることがわかった。目立つ失敗だけでなく目立たない成功についてももしっかり知っておく必要があると感じた。

4. おわりに

今回の学会に参加して、電気学会の会員または関係する方たちが、どういった意識で研究活動を行っているか、どういった視点で社会を見ているか、電気という重要なインフラを担う身としてどういう認識を持っているかを垣間見ることができたと感じる。自分自身が研究活動を行う上で参考にしていきたい。